

令和6年度青少年健全育成地区委員会連絡会（研修会） 情報交換会

令和7年2月7日（金曜日）の青少年健全育成地区委員会連絡会（研修会）では、モデル事例の発表に続いて、情報交換会を行いました。

「時代にマッチした地域活動を考える～他の地区委員会の工夫を自分の地域にも取り入れてみよう！～」をテーマに、ご参加の67人の皆さまに、15グループに分かれて話し合っていました。

どのグループも活発に意見を交わす様子が見られ、研修会終了後にご記入いただいたアンケートでは、「普段話すことのない他の地区の話が聞けて参考になった」「情報交換の時間がもっと欲しかった」「また参加したい」等のコメントをいただきました。

当日の情報交換で交わされたご意見について、お預かりしたワークシートから何点かご紹介いたします。

情報交換会ワークシートより

テーマ:時代にマッチした地域活動を考える

～他の地区委員会の工夫を自分の地域にも取り入れてみよう！～

1 自分たちの地区で、実施している地域活動を紹介しましょう。

<スポーツ>

- ・大運動会（未就学児から小・中・高校生、大人が参加）
- ・ウォーキング大会、ラジオ体操等（各世代が参加できる活動）
- ・サッカーフェスティバル
- ・マラソン大会
- ・パラスポーツ大会 など

<イベント・交流活動>

- ・バスハイク・バスツアー（いちご、みかん、芋ほりなど）
- ・子ども祭り（模擬店、ゲーム、カレー、餅つき、昔遊び）
- ・キャンプ
- ・コンサート（幼・小・中連携）
- ・どんど焼き、キャンプファイヤー
- ・まゆ玉づくり
- ・講演会
- ・レクリエーション会、調理 など

<その他>

- ・地域の施設（空港・物流施設等）の見学会
- ・朝のあいさつ運動、パトロール
- ・二次元コードを活用した電子申し込み、チラシ電子化等ペーパーレス
- ・新しい住民の勧誘
- ・中学生リーダーの活用（大人と子供の架け橋）
- ・児童の父親の参加を促進
- ・各校のPTAを巻き込み、町ぐるみの運動会を実施
- ・地区委員会単体でのイベント実施ではなく、PTAや他団体のイベント運営に協力
- ・見守り活動 など

2 日常の地域活動における課題や、解決に向けた取組みを共有しましょう。

<課題>

- ・土曜日は子供たちの習い事や塾などで参加率が低下(日曜日の実施になる)
- ・熱中症対策(夏の暑さでイベントを開催できない)
- ・アレルギー対策
- ・電子媒体は訴求力が低い
- ・地区委員の担い手が減少・高齢化
- ・教員の働き方改革、PTA体制の変化
- ・外国人の増加、外国人コミュニティの見えづらさ
- ・障害のある子供への対応 など

<解決に向けた取組み>

- ・開催時期を変更(5月や10月など涼しい時期)
- ・学校から行事予定表を提供してもらい年間予定を計画
- ・中学校の部活(ボランティア部)に学校を介して活動参加を依頼
- ・配布形態を「学校や子供には電子データ」、「地域には紙」など、対象によって工夫
- ・「食」の要素を取り入れ集客力向上
- ・二次元コードを活用した参加者のとりまとめなど業務の効率化の推進
- ・地区の事業者にもメリットを説明し、運営に協力をしてもらって集客アップ
- ・事前に子供を対象としたアンケートを実施し、子供が主体的に活動へ参加
- ・子供たち主体の縁日を開催
- ・保護者と連絡が取れるようにして安全性を担保
- ・ユニバーサルデザイン文字(視認性が高く、読みやすいフォント)を使って資料を作成

3 今後、地域活動に取り入れていきたい、時代にマッチした取組みや工夫を考えてみましょう。

<子供を主体的に参画させるには>

- ・子供が主体となった活動(例:準備段階から子供が参加、中高生が販売に関わるなど)
- ・子供が参加しやすい活動(サッカー大会、ダンス大会、食べ物付きイベントなど)
- ・中学校のボランティア部などと協力し、地域ぐるみで対応
- ・転入者に街の魅力を伝える機会の創出(子供による街の紹介など)
- ・準備段階から子供を巻き込むことで、「親子の時間を奪われる」といった声に対応(子供も準備の大変さとおわせて楽しさも知ることができる) など

<運営側や参加者が、地域活動へ継続的・持続的に関わるには>

- ・地域の専門家や習い事事業者、プロスポーツ団体、施設等を活用
- ・習い事事業者を地域に巻き込み、子供たちの習い事と地域活動を両立
- ・大人が大変なだけでなく、大人も楽しめる活動の工夫 など

<障害がある子、外国にルーツを持つ子など多様な子供たち参加を促すには>

- ・運動をメインに取り入れ、言葉の壁を越えた交流活動を実施
- ・地域の大学と連携し、外国人教師と関わりを持たせた活動を実施 など